



| | |
|-----------|---|
| Title | Improvement in the postoperative course of salvage esophagectomy after definitive chemoradiotherapy |
| Author(s) | 佐藤, 拓也 |
| Journal | 2014 |
| URL | http://hdl.handle.net/10470/30886 |

様式 (6)

学 位 審 査

| | | | |
|---|------------|-------|-------|
| 学 位 番 号 | 乙 第 2840 号 | 氏 名 | 佐藤 拓也 |
| 審 査 委 員 会 | 主 査 教 授 | 山本 雅一 | |
| <p>論文審査の要旨 (400 字以内)</p> <p>サルベージ食道切除術手術は術後合併症発生や死亡率が高いことが問題とされており、改善のための工夫として、近年リンパ節郭清範囲縮小などが試行されている。サルベージ手術のリンパ節郭清範囲について年代別に比較検討を行い切除成績を検討した。右開胸サルベージ食道切除手術症例 26 例を前期 15 例 (1993-2002 年) と後期 11 例 (2003-2011 年) に分類し治療前ステージ、術前の状態、リンパ節郭清範囲、術後経過および予後について比較検討した。リンパ節郭清範囲は後期で有意差をもって縮小しており、在院死亡は前期 2 例後期ゼロ、縫合不全や肺炎は後期で減少傾向で、SIRS 期間は後期で有意に短縮が認められた。後期で手術成績が改善したことはリンパ節郭清範囲が有意に縮小したことも要因の 1 つであると思われる。サルベージ食道切除手術は、リンパ節郭清範囲を縮小することにより、早期術後成績を改善する可能性が示唆された。</p> <p>本要旨は当該論文が第二次審査に合格した後の 1 週間以内に学務部医学部大学院課へご提出下さい。(本学学会雑誌に公表) [学校教育法学位規則第 8 条]</p> | | | |